ＯＷＬ－６１２－ＷＣシリーズ取扱説明書

この度は弊社製品をご購入いただき、まことに有り難うございます。本製品を正しくお使い頂くために本取扱説明書を必ずご一読下さい。また取扱説明書の裏側が保証書になっておりますので破損、紛失等の無いように大切に保管して下さい。

１．組立て時の注意事項

・ケース内には尖った所や鋭利な部分が有りますので怪我に注意して作業を行ってください。
・組立て作業中、不明な箇所はサポートセンター宛てに確認を行ってから実施して下さい。
・電子部品は静電気に大変弱い部品です。作業を行う前に必ずアースを取るなどして静電気対策を行ってから作業を実施して下さい。

２．付属品

下記は本ケースに付属されている部品を示します。仕様変更や生産時期により内容が変更になる場合が有りますので、予めご了承下さい。**／Ｎが付く製品では電源が別売となっておりますのでご注意下さい。**

５．２５”ベイ用ガイドレール
側面にＣＤ－ＲＯＭの刻印が入っています。

３．５”ＦＤＤ用ガイドレール
側面にＦＤＤの刻印が入っています。

＊ガイドレールはケース内部の下側に固定されています。

マウントナット
マザーボードとケースの
間に入れるスペーサーです。

ミリネジ
ＣＤ－ＲＯＭ、ＦＤＤを
固定する為のネジです。

インチネジ
ＨＤＤやマザーボードを
固定する為のネジです。

ソケット４７８用ブラケット

ソケット７７５用ブラケット

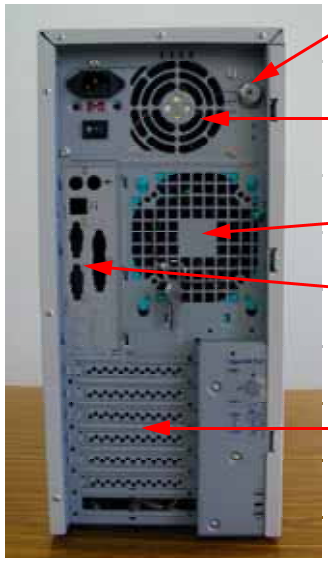
☆上記ブラケットはそれぞれ４７８・７７５ＣＰＵ用の水冷ヘッド固定ブラケットです。
ＣＰＵに水冷ヘッドを固定するために使用されます。

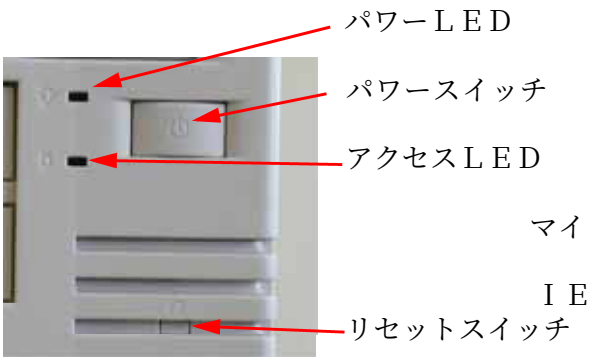
【注意】ケースによってはＩ／Ｏバックパネルやファンブラケットがケース本体に装着されずに付属している場合が有ります。付属部品の該当する項目を参照してケースに装着して下さい。

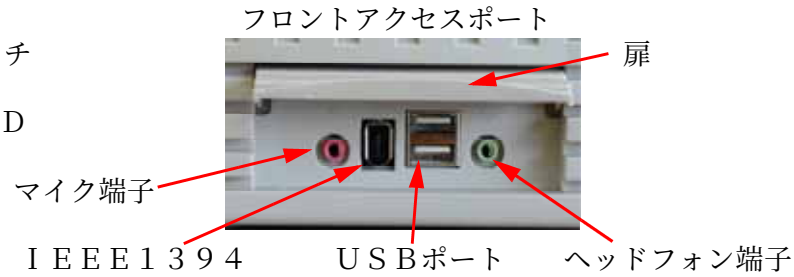
３．各部名称

【ケース・フロント側】

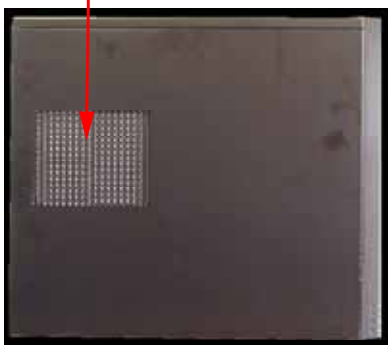
【ケース・背面側】



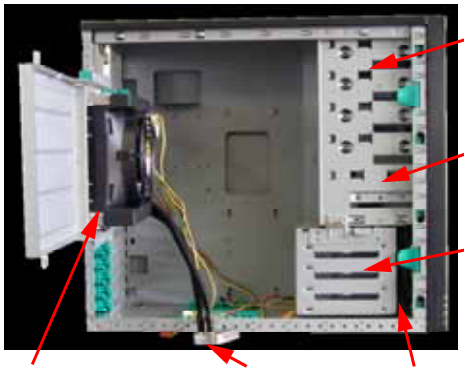




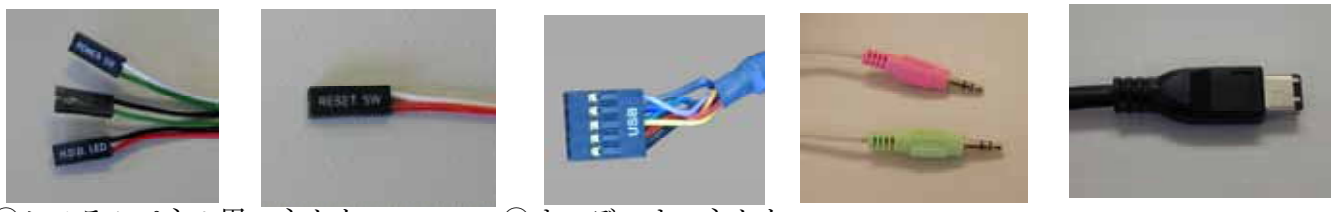
【ケース・サイドパネル】



【ケース・側面内部】



①　②　③　④　⑤



①システムパネル用コネクタ　　④オーディオコネクタ
②リセットスイッチコネクタ　　⑤ＩＥＥＥ１３９４コネクタ
③ＵＳＢコネクタ

＊パワースイッチ、リセットスイッチには極性は有りません。
＊パワー、アクセスＬＥＤには極性が有りますので接続時に注意が必要です。(白又は黒がＧＮＤ)

４．サイドパネル

本製品のではネジレス／ロック機構を採用しておりますのでロックキーを解除するだけで簡単にサイドパネルを取り外すことが出来ます。

①ケース付属のロックキーを差し込み左に９０度回してロックを解除します。

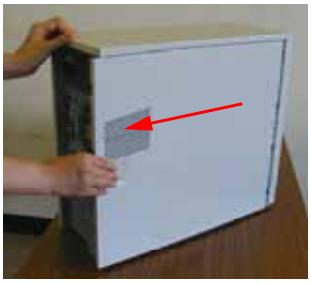
②ストッパーを確認します。

③ストッパーが掛かっている状態では上記写真の○内のプレートが見えます。

【注意】新規に購入した状態ではロックは掛かっておりませんので①作業は不要です。

<u>また、取外した鍵は絶対に紛失しないよう十分注意して下さい。</u>

④背面のロックが解除されている事を確認します。



⑤サイドパネルを後方へ引きラッチを外します。

⑥ラッチが外れたらパネルを斜め上方へ抜き取ります。

⑦写真はサイドパネルをはずした状態の写真です。
ケース内部には水冷ユニットが設置されておりますのでラジエーターフィン等に傷を付けないようご注意下さい。

5．フロントパネル

本製品のフロントパネルはネジレス仕様となっており、簡単な操作で取外し／装着が可能です。

【取外し方法】

①サイドパネルを開けた状態で側面に付いているレバータブに手を掛けます。

②レバータブを垂直に引き上げます。
フロントパネルのロックが外れます。

③写真ではフロントパネルが外れた状態です。

④フロントパネルに手を添えて右に９０度開きます。

⑤フロントパネルが外れますので必要な作業を行います。

【取り付け方法】

①フロントパネル、右側の凸部分をケースに合わせます。

②フロントパネルの右側を軸にして閉じるようにかぶせます。
フロントパネルのロックを解除するレバータブは垂直の状態にしておきます。（解除状態）

③フロントパネルの固定ツメの位置を確認しながらしっかりと押し込みます。
ロックが確実に行われるとレバータブは水平位置へ戻ります。

【注意】位置合わせが出来ていない状態で、無理な力をかけるとパネルやロック機構の部品が破損致します。必ず位置を確認してから作業して下さい。

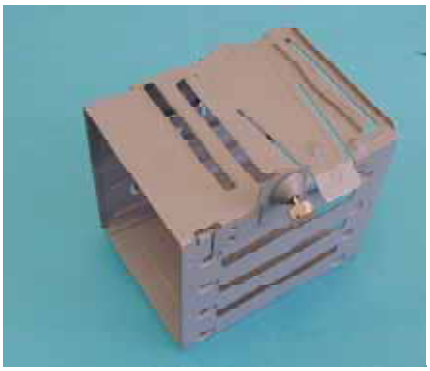
６．ＨＤＤ用シャドーベイ

本製品には取外し可能な３．５”ＨＤＤ用シャドーベイが装備されております。最大で４台までのハードディスクを装備する事が可能です。

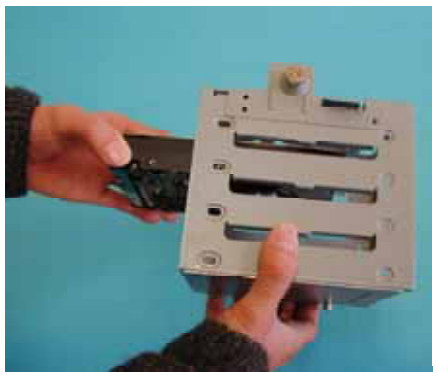
①３．５”シャドーベイを固定しているローレットネジを外します。

②ストッパーを押し下げながらシャドーベイを手前に引出します。

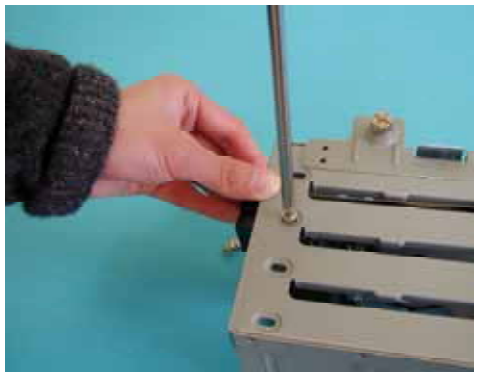
③シャドーベイを斜め上方へ持ち上げるようにして抜き取ります。



④写真はシャドーベイをケースから取外した状態です。



⑤ドライブをシャドーベイに挿入します。この時点でＩＤＥドライブの場合マスター／スレーブの設定を行って下さい。



⑥インチネジを使用してシャドーベイにドライブを固定します。
※片側(ローレットネジ側）2 箇所
反対側は 1 箇所ネジ止め

【注意】ハードディスクは精密機械ですので取扱には十分注意を行ってください。

⑦ハードディスクを取り付けたシャドーベイをケースに取り付けます。
シャドーベイの下面に有るピンをケースのガイド溝に合わせて差し込みます。
急激な振動がドライブに加わらないようにしっかりと押えてシャドーベイを奥まで押し込みます。

⑧ストッパーが掛かったら固定用のローレットネジを締めます。ローレットネジは必ず指で締めて下さい 。ドライバー等で固定すると外れなくなったり、ネジ穴を破損したりする場合が有ります。

７．固定式ＨＤＤ用シャドーベイ

本製品には取外し可能なシャドーベイのほかにＦＤＤドライブベイの下側に、２台収納可能なＨＤＤ用のシャドーベイが装備されております。

①マスター／スレーブの設定を行ったドライブをシャドーベイの１段目又は２段目に挿入します。

②ドライブのネジ穴とシャドーベイの側面のネジ穴を合わせながら２箇所をインチネジで固定します。
強く締め過ぎてネジ穴を破損しないようにご注意下さい。

８．フロッピーディスクドライブ

本製品では１台のフロッピーディスクドライブを装備する事が出来ます。取り付けにはガイドレールを使用しネジレスでの取り付けが可能です。

【取り付け】

①フロッピーディスクドライブにケース付属のガイドレールを取り付けます。使用するレールは側面に「ＦＤＤ」の刻印が入っています。

②写真はレールを取り付けた状態です。フロッピーディスクドライブを挟むようにガイドレールを取り付けます。

③レールがドライブから外れないように押えながらＦＤＤベイへ挿入します。
水平にゆっくり差し込む様に注意して下さい。

レールの裏面に出ているピンの間隔が狭いレールを使用し
ドライブの後方の２つの固定ネジ穴を使用します。
【注意】ガイドレールのピンは折れやすいので取扱に十分ご注意下さい。

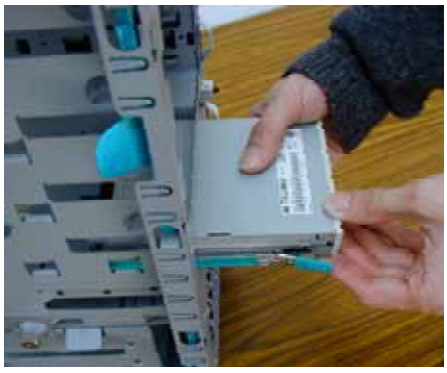
④ガイドレールのレバー部分が「カチッ」と音がしてレールがロックされます。

レールの先端がストッパーの手前に来ている状態が正常です
もし、後方へ通りすぎていたら、ドライブを取り出し正しい位置へ修正して下さい。

⑤レールがロックされない場合、
レールガイド溝のストッパーを通りすぎている場合が有りますので注意をして下さい。

【取外し】

①レールガイドの先端を人差し指でドライブ側に押し付けるようにし、ドライブをＦＤＤベイから引き出します。



②ドライブに手を添えて水平に引き出します。

③ドライブからガイドレールを取外します。

【注意】ガイドレールのピンは折れやすいので取扱に十分ご注意下さい。

９．ＣＤ－ＲＯＭドライブの取り付け／取外し

本製品では５．２５”ドライブを４台まで収納する事が可能です。ドライブはガイドレールにより取り付けられ、ネジレスで使用する事ができます。また、同時に片側をネジで固定して使用する事も可能になっています。

【取り付け】

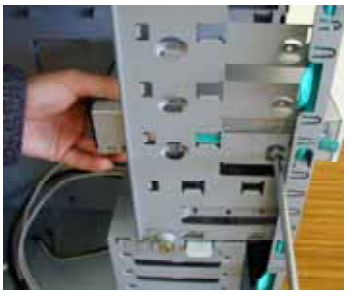
①ＣＤ－ＲＯＭ用のガイドレールを、ドライブの側面に有るネジ穴に合わせて取付けます。（左右に取付けます）

②５．２５”ベイのシールドを外してドライブを水平に差し込みます。

③ガイドレールのロック部分がパソコンフレームの溝に「カチッ」と音がするまで差し込みます。
ガイドレールの曲がり部分が足りないとうまくロックされませんので、足りない場合は少し曲げを追加します。

【注意】ガイドレールが外れない様に指で押えながら差し込みます。
最初の内はレールとの擦り合わせが出来ていない為、固く感じられる場合が有ります。

【取外し】



④ガイドレールのロックでドライブがぐらつくような場合は、側面に有る固定ネジ穴を使用し、固定します。
ドライブを手で支えながら前側をミリネジで固定します。 同様に、後側のネジもミリネジで固定します。

①ガイドレールをドライブ側に押しつけるようにしてロックを外します。
＊ネジで固定している場合は先にネジを外しておきます。

②ガイドレールを保持したまま、ドライブを水平に抜き出します。

【注意】使用するドライブによっては前面パネルと位置が若干前後しますので予めご了承下さい。（リコー製ＣＤ－ＲＷ等）

１０．マザーボード

本製品ではＡＴＸ規格のマザーボードが搭載可能です。搭載できるサイズは３０５×２４４mm迄のＡＴＸサイズとなります。また、ＡＴＸ規格のマザーボード等でもデュアルＣＰＵ対応のものや改造を行ったボードでは一部搭載できない場合が有ります。

【注意】マザーボードを取り付ける場合は**２２項の④**迄の作業を先に行って下さい。

①マザーボードマウントナットを使用するマザーボードの固定穴に合わせて差し込みます。

＊余分なマウントナットは絶対に取り付けないで下さい。

パターンがショートする可能性が有り、最悪の場合ＣＰＵやマザーボードを破損する場合が有ります。

②写真はマウントナットを取付けた状態です。通常のマザーボードではマウントナットの使用数は６個～９個になります。

＊必ずマウントナットとマザーボードの穴位置を確認して下さい。また、マウントナットの向きは全て同一方向に統一して下さい。

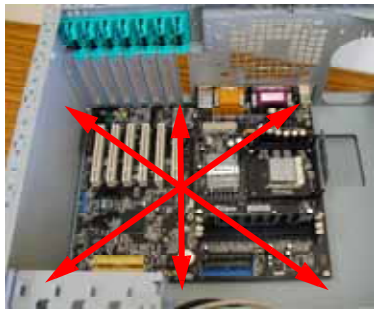
③マザーボードをＩ／Ｏバックパネルの形状に合わせて取付けます。

＊ＰＳ／２ポート等はスプリングプレートが内側に出ていますので注意して取り付けて下さい。

④Ｉ／Ｏバックパネルを確認し，各Ｉ／Ｏコネクターが正常に出ているか確認します。

⑤ＰＳ／２ポートの側に有る固定ネジを仮止めします。

＊最後に固定しますので軽く締めるだけにして下さい。



⑥対角線上にネジを仮止めしていきます。

歪みや位置ずれが無い事を確認したら本締めを行います。

＊本締めを行う場合も必ず対角線に締めてください。

強く締め過ぎてマウントナットやネジを破損しないよう御注意下さい。

１１．ＰＣＩカードスロット取扱

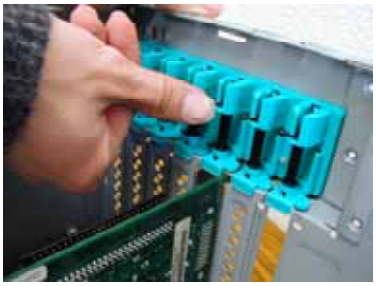
①使用するスロットのロックレバー（黒いプラスチック）を真っ直ぐに引き起こします。

②ロックレバーを真っ直ぐ上にスライドさせ、Ｉ／Ｏスロットカバーのロックを外します。

③写真では右から３番目のＰＣＩスロットカバーを外した状態です。

④ＰＣＩカードを水平に押えながらスロットに差し込みます。
差し込む場合､異常を感じたら無理に差し込まず、一旦取り
出し差し込む角度やコネクタを確認してから行ってください。

⑤カードが正常に取付けられたらロックレバーを押し下げて
カードを固定します｡このときロックレバーの先に付いて
いるピンがスロットカバーの固定ネジ穴に正しく入るように
調整しながら下げます。



⑥ロックレバーを倒してカードをロックします｡カードに
よってはスロットカバーが多少浮きあがる場合が有ります
ので、カードを押えながらレバーを倒します。

＊無理に倒してレバーを折らないよう注意して下さい。

本製品ではＰＣＩカードを固定する為の特別な機構を装備してお
ります｡ネジ等を使用せずに固定でき､他のＰＣＩスロットに影響を
及ぼさずに単独で固定が出来ます。

１２．電源ユニットの取扱(OWL-612-SLT/WC は電源搭載なしモデルになります)

本製品には電源搭載モデル及び無しモデルが有ります。製品型番の最後に「／N」が付属するモデルは電源が搭載されておりませんので、お客様にて別途電源をご用意下さい。
メンテナンスや電源交換を実施する場合は下記の手順に従って交換を　行ってください。
【注意】サポート時を除き、電源交換はお客様ご自身の自己責任において行ってください。
交換された電源による不具合に関しては一切のサポート／保証を行っておりません。

①安全の為にケースを横に
倒して作業を行います。
以下の順にネジを外しま
す。（右下→ 左上→ 左下）

②電源を押えながら右上のネジを
外します。

③電源ユニットに手を添えて
少し引き出します。

④ 電源ケーブル等を一束にして片手で持ち、もう片方の手で電源ユニットをしっかり持って取外します。
　電源ユニットを誤ってマザーボードやドライブの上に落とさないように慎重に作業を行ってください。

１３．前面９ｃｍ（８ｃｍ）ファン

　本製品には予め９ｃｍ吸気ファンが装備されておりますが、９ｃｍファン以外に８ｃｍファンを使用することが可能です。ファンのメンテナンスや交換を行う場合の取外し手順を次に示します。取付ける場合は逆の手順で取付けを行ってください。

①３．５”ＨＤＤシャドーベイを取外します。

②ケースを横にして以下の順にタッピングビスを外します。
（右下→ 左上→ 左下）

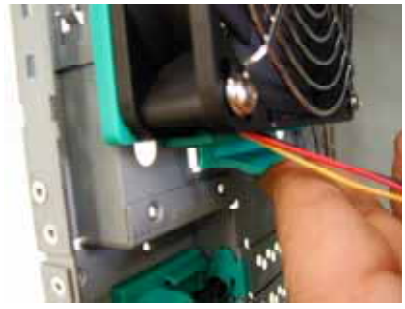
③ ファンを手で押さえながら右下のタッピングビスを外します。

④ファンの取外しが出来ましたのでメンテナンスやファンの交換を行います。
取付けを行う場合は、取外した手順の逆で行います。

【取り付け時】
＊取外しの手順を逆にして取り付けを行います。

１４．背面１２ｃｍ（９、８ｃｍ）ファン

　本製品では１２ｃｍファン（ブラケット装備）が標準で装備されております。また使用環境によっては９ｃｍ、８ｃｍファンを使用する事が可能です。



①ファンブラケットのタブを押し上げてロックを外します。

②タブを押し上げたままファンブラケットを下にスライドさせます。

③背面から見た場合、４ヶ所の勘合部分が外れていることが確認できます。

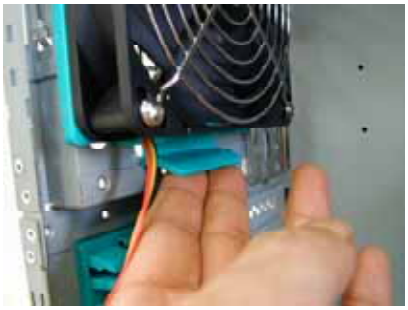
④１２ cm ファンに付いているファンガードを取外します。

⑤１２ cm ファンを固定しているツメを外し、ファンを取外します。

⑥新しいファンを取付けます。ファンの向きに注意しながらファン固定用のツメに固定します。

⑦ファンガードを取付けます。ネジを締める場合、必ず対角線上で締めるようにして下さい。

⑧背面の凸部分をケースの穴に合わせます。



⑨ファンブラケットを押しつけたまま上へスライドさせ、ロックが掛かったことを確認します。

⑩横や背面から見てブラケットが正しく取り付けられている事を確認します。

【注意】ファンを取り扱う場合、ファンの中心部分を押したり、指でファンを回すような事は絶対にお止めください。ファンの寿命を短くし、最悪の場合はファンが正常に回転しなくなる場合が有ります。

【９ cm,８ cm ファン取付け方法】

９ cm 又は８ cm ファンを取付ける場合にはブラケットは使用できません。使用するファンに付属されているタッピングビス等を使用して固定して下さい。

①１２ cm ファンを取外した後に、９ cm 又は８ cm ファンを向きに注意しながら固定穴に合わせます。

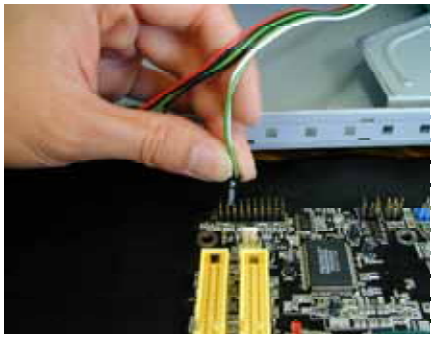
②ファンに付属されているタッピングビス等でファンを固定します。
＊ファンを固定する場合は必ず対角線でネジを締めてください。

１５．システムパネルケーブルの接続

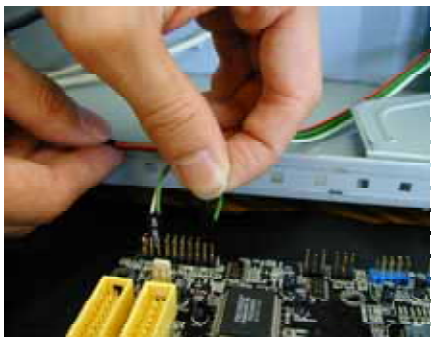
本製品ではシステムパネルケーブルとして「パワースイッチ」「パワーＬＥＤ」「アクセスＬＥＤ」の3つのケーブルが付属しています。

【注意】本ケースには「スピーカー」は装備されていませんのでご注意下さい。

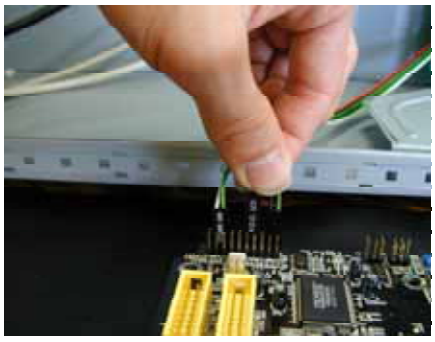
①各ケーブルを確認します。
パワーＬＥＤのケーブルは線毎にコネクタが付属します。



②マザーボードのマニュアルを参照しながら「パワースイッチ」を接続します。パワースイッチのコネクタには緑と白の２本の線が有りますが極性は有りません。



③パワーＬＥＤのコネクタを接続します。
ＬＥＤには極性が有りますので接続する場合は＋、－に御注意下さい。緑色コネクタ：＋
黒色コネクタ：－



④マニュアルやマザーボードの表記通りに接続してもＬＥＤが点灯しない場合は、コネクタの緑色と黒色を差し替えてください。

⑤アクセスＬＥＤを接続します。
ＬＥＤには極性が有りますので接続する場合は＋、－に御注意下さい。

赤色コネクタ：＋
黒色コネクタ：－

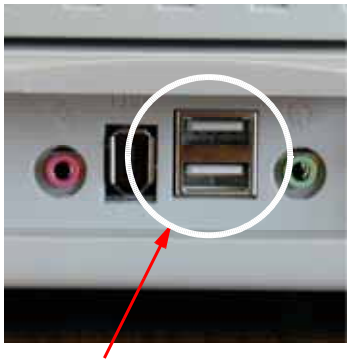
ＬＥＤが正常に点灯しない場合、コネクタを逆にして点灯確認を実施して下さい。

１６．フロントＵＳＢケーブルの取扱

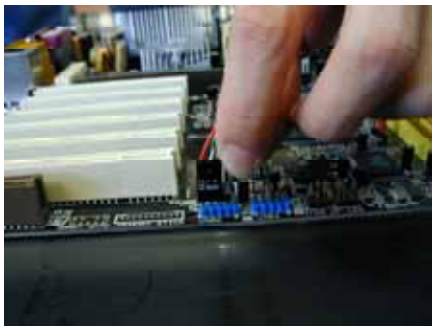
本製品にはフロントアクセス可能なＵＳＢポートを２ポート装備しています。

２ポート分の接続ケーブルがケース内部に有ります。（１ピースタイプ）

製品によっては３＋１ピンタイプのピンヘッダーが２本付属する場合が有りますのでご了承下さい

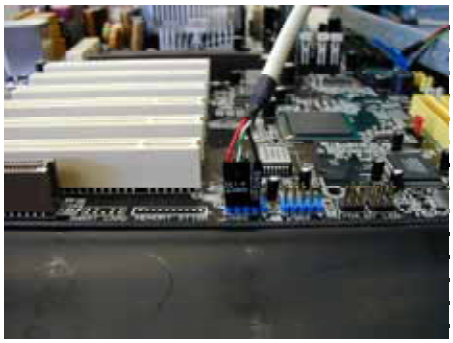


内部接続ケーブルをマザーボード上のＵＳＢポートへ接続する事により、本ＵＳＢポートが使用可能になります。



ＶＣＣ１	電源供給用
ＵＳＢ１－	データ用（マイナス）
ＵＳＢ１＋	データ用（プラス）
ＧＮＤ	グランド

マザーボードやマニュアルによって各信号ラインの表記が違っておりますので十分ご理解頂いた上で御利用下さい。

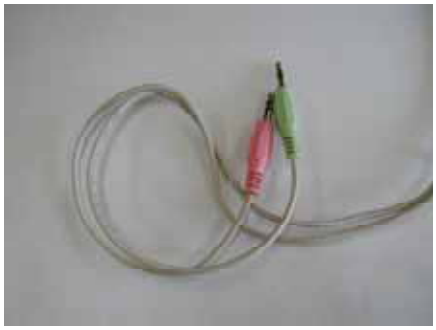


写真はマザーボードへ接続した状態の参考例です。
通常、接続されるケーブルのカラーコードは次の通りになっております。　赤－白－緑－黒　の順

接続には必ずマニュアル等で確認を行ってください。

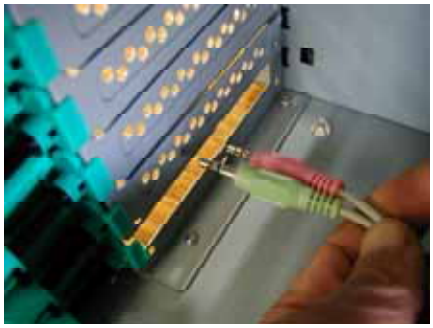
１７．フロントオーディオの取扱

本製品ではフロントアクセス可能なヘッドフォン端子とマイク端子を装備しております。
接続ケーブルは内部スルーケーブルとなっておりパソコン背面のオーディオジャックに接続されます。



ヘッドフォン端子用接続ケーブル：黄緑色

マイク端子用接続ケーブル：桃色



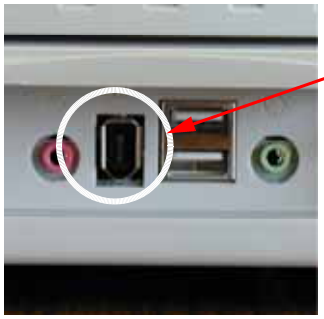
①Ｉ／Ｏスロットカバーで使用していないカバーを外しケーブルを通してケース外へ出します。

②引き出したケーブルをサウンドカード等へ接続します。

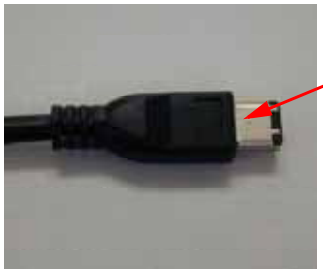
フロントアクセスポートが使用可能になります。

１８．フロントＩＥＥＥ１３９４の取り扱い

本製品にはＩＥＥＥ１３９４延長ポートが１つ装備されております。本ポートを使用するためにはマザーボード及びＯＳがＩＥＥＥ１３９４をサポートしている必要が有ります。



フロントＩＥＥＥ１３９４ポート
ＩＥＥＥ１３９４機器を接続することが可能です。



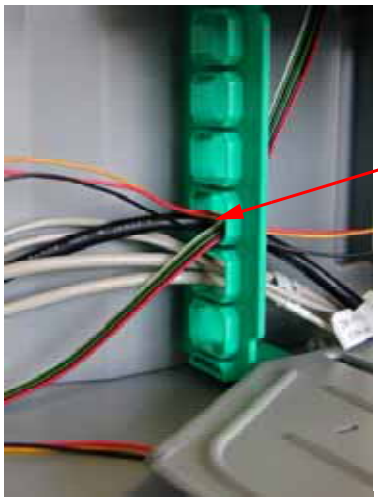
空きのＩ／Ｏスロットを利用して、背面のＩＥＥＥ１３９４ポートに接続します。

Ｉ／Ｏスロットの利用方法はオーディオコネクタをご参照下さい

１９．カードフォルダーの取扱

本製品にはフルサイズのアドオンカードを固定する為のカードフォルダーが装備されています。
【注意】カードフォルダー内を各種ケーブルが通っておりますので、使用する場合ケーブルが邪魔にならないように配置を変更して下さい。
カードフォルダーを使用する場合、ケースに付属する３．５”ＨＤＤシャドーベイは使用できませんので御注意下さい。

フロントアクセスポート用ケーブル、システムパネルケーブル等がコントロール基板に接続されています。
不用意にコネクタを外すことが無いようにご注意下さい。

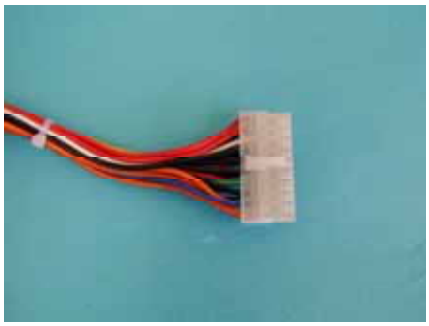


使用する場合通っている穴位置をずらすか、ケーブル配置を変更します。

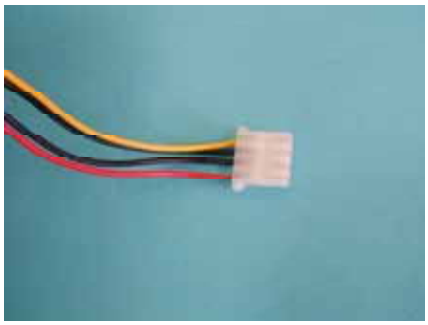
ケーブル等が邪魔にならなければ、そのまま使用します。

２０．電源コネクタ各種説明(OWL-612-SLT/WC は電源搭載なしモデルになります)

電源搭載モデルでは下記に示すような電源ケーブル（コネクタ）が装備されております。電源規格または電源モデルにより一部異なった電源ケーブル（コネクタ）が装備されている事が有りますので予めご了承下さい。

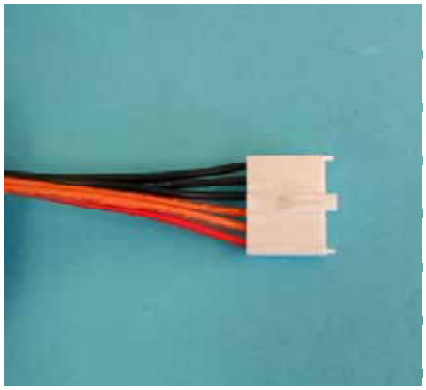


★２４ピンコネクタ
マザーボードに電源を供給します。
ATX12V Ver1.3 迄 20PIN タイプ
ATX12V Ver2.0 以降 24PIN タイプ

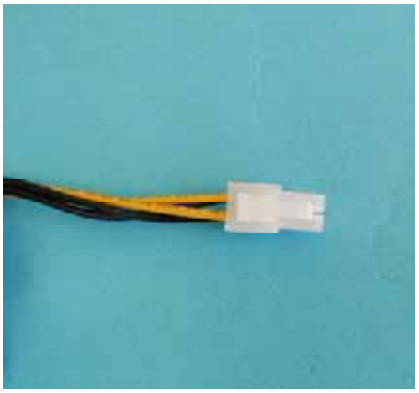


★４ピンペリフェラル電源コネクタ
ＨＤＤやＣＤ－ＲＯＭドライブ等に電源を供給します。

★フロッピードライブ電源コネクタ
フロッピーディスクドライブやその他の機器に電源を供給します。



★ＡＵＸ電源コネクタ
マザーボード用の補助電源コネクタ
マザーボード上にこのコネクタが無い場合は使用する必要は有りません。



★ＡＴＸ１２Ｖ電源コネクタ
Ｐｅｎｔｉｕｍ４搭載マザーボード等で使用される電源コネクタ。
マザーボード上にこのコネクタが無い場合は使用する必要は有りません。

★電源ファンパルスセンサー出力コネクタ
電源ユニットに搭載されている冷却ファンの回転数を出力します。通常,マザーボードのＰＷＲ-ＦＡＮ等に接続して使用します。コネクタが足りない場合や、無い場合は使用する必要は有りません。

【注意】★電源の種類によっては上記で紹介したコネクタ（ケーブル）が付属しない場合が有ります。
必ず電源ユニット自体の仕様をご確認下さい。

２１．バックパネルの取扱

本製品にはＡＴＸ標準のＩ／Ｏバックパネルが装備されております。形の違うＩ／Ｏバックパネルを使用する場合は下記の手順にしたがってパネルの交換を行ってください。

【注意】板金などのエッジ部分に鋭い部分が有りますのでケガには十分注意して作業を実施して下さい。

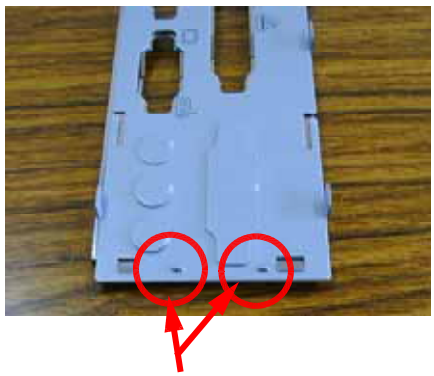
①Ｉ／Ｏバックパネルは上下のツメで固定されています。

２個のロック用の出っ張りが有ります。

②ケースの表側からパネルをロックしている出っ張り部分を内側に押します。（押したままの状態にします）

③Ｉ／Ｏバックパネルを写真の左方向にスライドさせます。
外側のロック部分が外れないとスライドさせる事は出来ません。

④上下のツメが外れるとＩ／Ｏバックパネルは内側に外れます。
内側に張り合わせている薄いスチールに注意して取外します。



⑤左の２ヶ所がロックとなっています。

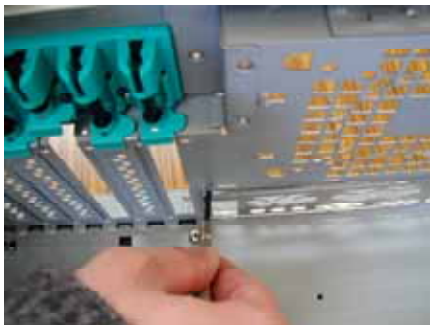
⑥取り外したＩ／Ｏバックパネル
取り外した跡の開口部に希望するＩ／Ｏバックパネルをはめ込みます。

⑦使用するＩ／Ｏバックパネルを開口部に合わせ,取付けます。

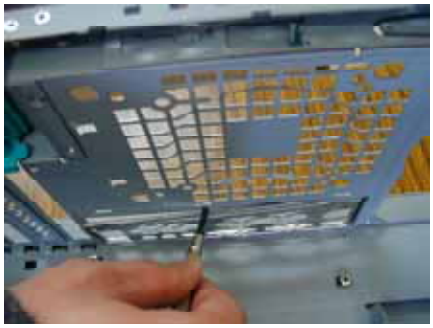
＊Ｉ／Ｏバックパネルの開口部分は使用するパネルにより多少きつい物が有ります。
指ではまらない場合は下記の例を参考にパネルを取り付けて下さい。

⑧Ｉ／Ｏバックパネルの谷部分にマイナスドライバーを当てて押し込みます。

⑨パネルを手で押えながら下側の部分を押し込みます。



⑩パネルを指で押えながら時計回りに押し込んでいきます。



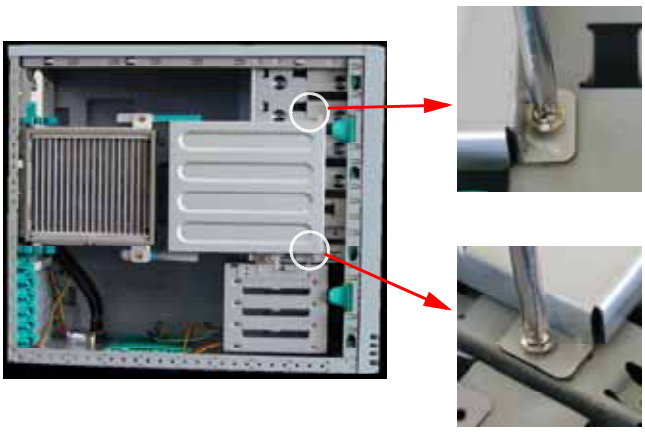
⑪パネルの上側を押し込んで行きます。

⑫最後に組み付け部分を確認し、外れている場所が無い様にします。もし、外れている場所が有ったら、手でパネルを押えながらその部分を押し込みます。

⑬組込みが完了したＩ／Ｏバックパネル写真のＩ／ＯバックパネルはＰ４用マザーボードに付属していた物。

２２．水冷ユニットの使用方法

本製品では山洋製水冷クーラーユニットを装備しております。経年による冷却水補充等のメンテナンスを排除した手軽にご利用いただけるシステムとなっております。冷却ヘッド固定ブラケットはソケット４７８用とソケット７７５用の２種類が添付されておりますので、対応するＣＰＵに合わせてご利用下さい。



①サイドパネルを取り外し、マウント固定ネジを２カ所外します。

②水冷ユニットを９０度持ち上げます。

【注意】★冷却水循環パイプや水冷ヘッドに傷を付けないよう、慎重に作業を行って下さい。
★作業を行う場合、ケースを横置きにして安定した状態で行って下さい。

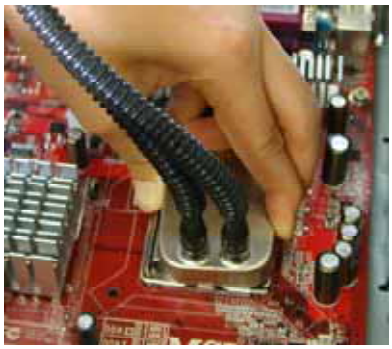
③水冷クーラーのジョイント部分が
ロック位置に有ることを確認します。

④水冷ヘッドをケース背面側に出して置きます。

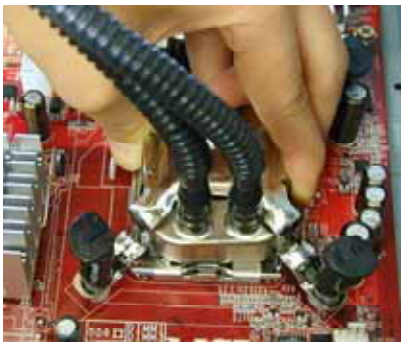
★マザーボードを取り付ける場合は上記の状態までの作業を行った後、取付を行います。

1）ＬＧＡ７７５ＣＰＵをご利用の場合

ＣＰＵ及びＣＰＵの取付に関してはＣＰＵやマザーボードに付属するマニュアルを参照して下さい。

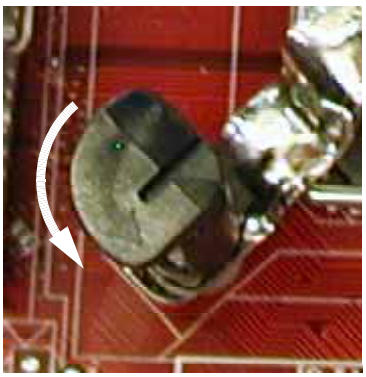


①ＣＰＵ表面に熱伝導シリコン等を
薄く塗り水冷ヘッドを乗せます。



②７７５用水冷ヘッド固定
ブラケットをを上から被せます。

③基板の穴に合わせてロック
ピンを差し込みます。



取り外す場合は、矢印の方向に９０度回しピンを引き上げます。
ブラケットの取り外しが終了したら必ず元の位置に戻します。

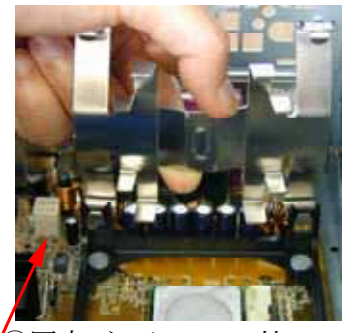
ロック位置と解除位置を間違わないようにご注意下さい。

2）ソケット４７８をご利用の場合

ＣＰＵ及びＣＰＵの取付に関してはＣＰＵやマザーボードに付属するマニュアルを参照して下さい。

①ＣＰＵに熱伝導シリコン等を薄く
塗り、４７８用水冷ヘッド固定
ブラケットを被せます。

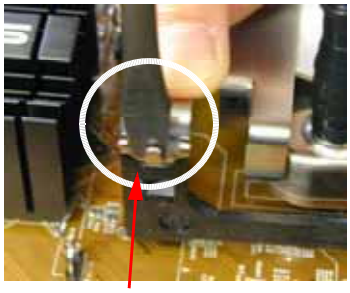
②冷却水循環パイプがブラケットの
間から出るように調整します。



③固定ブラケットの外ツメが
無い方をＣＰＵホルダに
掛けます。

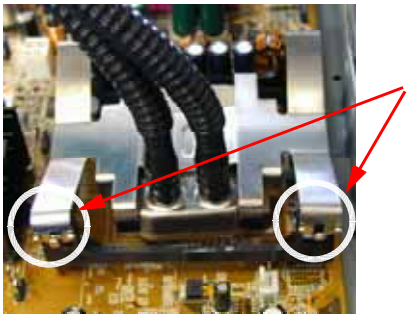
★写真では見やすくするために水冷ヘッドが無い状態で表示しています。

④水冷ヘッドを押さえながら、反対側のロックを掛けます。



★金具が固い場合、マイナスドライバー等で金具を開くように掛けると容易になります。

【注意】ドライバー等を使用する場合、誤って基板などのパターンを傷つけないよう十分注意して作業を行って下さい。



取り外す場合は、ツメの部分にマイナスドライバー等を差し込んで金具を開くようにして取り外します。

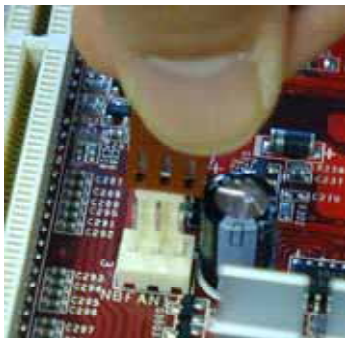
3）冷却ファン／冷却水循環ポンプ用電源コネクタ

水冷ユニットに付属するファン及びポンプの電源コネクタをマザーボードのファンコネクタへ接続します。

冷却ファン用電源コネクタ　　：　ＣＰＵクーラー用コネクタ

冷却水循環ポンプ電源コネクタ　：　ケースファン又はシャーシファン等
（推奨　分岐ケーブルを使用し電源ケーブルへの接続）

冷却ファン用パルスセンサーコネクタを
ＣＰＵファンコネクタへ接続



冷却水循環ポンプパルスセンサーコネクタを
ケースファン又はシャーシファンに接続

【注意】★冷却ファン及び冷却水循環ポンプの各コネクタを可変速コントローラー等に接続して使用する事は絶対にお止め下さい。水冷ユニットの性能が発揮出来ないばかりでなく、システムに重大なダメージを与える場合があります。（保証対象外となります）
可変速コントローラー等に接続する場合の、お問い合わせ・質問・サポートには一切お答えしておりませんのでご注意下さい。

２３．メンテナンス及びサポートに関して

本製品を使用してご不明な点が有りましたら弊社サポートセンター宛御連絡ください。
ご連絡頂く際には以下の情報をご用意下さい。

・お客様名
・電話番号
・購入年月日
・購入店名
・保証書
・マザーボード、ＣＰＵ、ＯＳ、ドライブ、ＰＣＩカード類等
・どのような現象が発生しているか
・どのような環境で使用しているか

＊１　保証書は必ず保管して下さい。店名の記載が無い場合はお買い上げ票(レシート)にて代替可能です。
保証書が無い場合は理由の如何を問わず一切のサポートをお断り致します。

＊２　弊社サポートセンターにてお客様の製品を確認させていただく場合、発送時に必ず不具合内容を
ご記入下さい。内容不明の製品の場合、処理に時間が掛かりますので御注意下さい。

＊３　パーツを破損した場合は弊社サポートセンターにてパーツの購入が可能です。
ご購入時に破損パーツの確認をさせて頂く場合が有りますので予めご了承下さい。

パソコンケースで困ったときは？

パソコンケース組立て時にご不明な点が有り下記の問題点と同じ場合は、該当致します項目をご確認願います。

Q：電源が入らない。

A：①電源ケーブルを奥まで接続していますか？電源タップを使用している場合はタップの確認をして下さい。
②電源ユニットにスイッチがある場合は、スイッチの確認をして下さい。「○」が OFF で「－」が ON になります。
③パソコン本体にあるパワースイッチコネクタをマザーボード上の正しい位置に接続していますか？。

Q：電源は入るが画面に映像が映らない。

A：①モニターの電源を「オン」にしていますか？
②パソコン本体に接続する VGA ケーブルを間違えた場所に接続していませんか？
③「ビープ」音が鳴っている場合は、周辺機器(CPU・M/B・メモリー等)に異常が発生していますので周辺機器をご確認して下さい。

Q：ケースに搭載されている LED やスイッチ類の配線方法が良く分かりません。

A：各スイッチ類には極性が有りませんので、どちら向きに接続しても問題はありません。
LED には極性があります。弊社の付属ケーブルでは「白又は黒」がマイナス(GND)側になります。
また、フロントにＵＳＢポートが付属している場合、その付属ケーブルはマザーボード上のＵＳＢピンヘッダーに接続して下さい。信号名はマザーボードメーカーにより名称が異なりますのでマザーボード付属のマニュアルにてご確認願います。

Q：ケースに搭載されている電源を交換することは可能ですか？

A：ATX 規格の電源はメーカー問わず規格で統一されていますので交換をすることは可能です。
ただし、ＡＴＸ１２Ｖ Ver1.3 からは－５Ｖの電源ラインが削除されておりますので型番の古いマザーボード等では正常に動作しない場合が有りますのでご注意ください。（ＩＳＡバス搭載Ｍ／Ｂ等）

Q：マザーボードの取付け位置が合わない。

A：マザーボードは背面の I/O パネル部分を先に差込み、所定の穴位置に合わせます。ネジで固定する場合は、最初の１本目から本締めすると２本目からのネジ位置が合わなくなるので全てのネジを仮止めしてから本締めを行って下さい。また、ネジは対角線上に固定をして下さい。

Q：FDD や HDD を固定するネジは？

A：通常、FDD や CD-ROM を固定するネジはミリネジを使用します(ねじ山の間隔が狭いネジ)。
また、HDD を固定する場合はインチネジを使用します(ねじ山の間隔が広いネジ)。
＊ HDD や CD-ROM にネジが付属されている場合は、その専用ネジを使用して下さい。

Q：マザーボードの I/O パネルとケースの I/O パネルの形状が異なります。

A：ケースに搭載されている I/O バックパネルは取外すことが可能です。上下ツメで固定されているので上下の部分をマイナスドライバー等で軽く押し交換をして下さい。また、板金などのエッジ部分に鋭い部分が有りますので交換の時は、ケガをしないよう十分注意して作業を実施して下さい。

Q：PCI 拡張スロット全てに拡張カードを接続しても OK ですか？

A：システムが不安定になる場合が多いので、AGP カードを差す下にある PCI バスと一番下にあるＰＣＩＩバスにはなるべくカードを接続しないほうが良いと思います。

Q：マザーボードの FAN ソケットが少なくてケースに搭載されている FAN を使用する事が出来ません。

A：FAN ソケットが少ない場合は、DOS/V パーツ専門店にて電源から供給し FAN を回すことが出来る変換ケーブルが発売をされているので別途、購入し使用して下さい。弊社にて取扱いをしている FAN 変換ケーブルの型番は「CBL-CL4」になります。

Q：ケースに付属していた部品を紛失してしまいました。パーツを購入することは可能ですか？

A：保守パーツを購入することは可能です。ただし数に限りがございますので場合によっては保守パーツを購入することが出来ない場合もございますので何卒ご了承ください。(保証書の確認が必要になります)

また、ケースに関しましてご不明な点がありましたら弊社サポートセンター迄ご連絡をお願い致します。